# 「の」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

# はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

# 目次

はじめに ..... 2

「の」で始まる語彙辞典 ..... 4

おわりに ..... 11


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

# 「の」で始まる語彙辞典

のう - えん【濃艶】
［名・形動］
あでやかで美しいこと。非常につやっぽく美しいこと。また、そのさま。「―な舞姫」

のう - か【濃化】
［名］（スル）
濃くなること。また、濃くすること。「煮つめて―する」

のう - がき【能書（き）】
① 薬などの効能を書きしるしたもの。また、その言葉。効能書き。「―を読む」
② 自分のすぐれた点などを述べたてること。また、その言葉。自己宣伝の文句。「―を並べたてる」

のう - さつ【悩殺】
［名］（スル）
ひどくなやますこと。特に、女性がその美しさや性的魅力で男性の心をかき乱し、夢中にさせること。「男を―する目付き」

脳漿(のうしょう)を絞(しぼ)・る
ある限りの知恵を働かせる。脳みそを絞る。

能事(のうじ)畢(おわ)れり
自分のなすべきことは全部終わった。能事足れり。


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

のう - たん【濃淡】
色や味などの濃いことと、うすいこと。「絵の具で―をつける」

のう - ぶん【能文】
文章に巧みなこと。また、その文章。「―家」

のう - べん【能弁】
［名・形動］
弁舌に巧みなこと。また、そのさま。「―な（の）人」「―家」

のこり - が【残り香】
《「のこりか」とも》
人が立ち去ったあとに残る、その人のにおい。「―が漂う」

残(のこ)る隈(くま)無く
すみからすみまで余すところなく。全部。「館内―点検する」

熨斗(のし)を付(つ)・ける
人に物を差し上げるときなどに、喜んでする。転じて、厄介払いなどを喜んでする。
「―・けてお返しする」

の - そだち【野育ち】
行儀や作法などのしつけをされずに、放任されて育つこと。また、そのような人。


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

退(の)っ引(ぴ)きなら◦ない
避けることもしりぞくこともできず、動きがとれない。ぬきさしならない。「―◦ない用事で外出する」「―◦ない事態に陥る」

の‐づみ【野積み】
物を屋外に積むこと。「材木を―にする」

喉(のど)が鳴・る
ごちそうを目の前にして、ひどく食べたくなる。「うまそうな匂いに―・る」

喉(のど)まで◦出(で)る
《「喉まで出掛かる」とも》
① 知っているはずの物事なのに、もう少しのところで思い出せない。「―◦出ているのに思い出せず、もどかしい」
② もう少しのところで口に出してしまいそうになる。「文句が―◦出たが我慢した」

のどもと‐じあん【喉元思案】
胸のうちで深く考えたのではない、あさはかな考え。

喉元(のどもと)過ぎれば熱さを忘れる
熱いものも、飲みこんでしまえばその熱さを忘れてしまう。転じて、苦しい経験も、過ぎ去ってしまえばその苦しさを忘れてしまう。また、苦しいときに助けてもらっても、楽になってしまえばその恩義を忘れてしまう。


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

のび - やか【伸びやか】
［形動］［文］［ナリ］
心が穏やかで生き生きしているさま。「―な声」「―な性質」

のべ - うち【延（べ）打ち】
金属をきたえて、平たく延ばすこと。また、そのもの。「銀の―のキセル」

のべ - た・てる【述べ立てる】
［動タ下一］［文］のべた・つ［タ下二］
あれこれと盛んに述べる。しきりに述べる。「よどみなくプランを―・てる」

のべつ - まくなし【のべつ幕無し】
［副］《芝居で幕を引かずに演技を続ける意から》
ひっきりなしに続くさま。「―に口を動かす」「―愚痴(ぐち)を言う」

の - ほうず【野放図】
［名・形動］《「の」は接頭語。「野」は当て字》
① 人を人とも思わないずうずうしい態度。横柄なこと。また、そのさま。傍若無人。「―な性格」「―にふるまう」
② 際限のないこと。しまりがないこと。また、そのさま。「―な暮らし」「―に金を使う」

のぼせ - あが・る【逆＝上せ上（が）る】
［動ラ五（四）］
すっかりのぼせる。ひどくのぼせる。「ほめられたからって―・るな」


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

のみ - あか・す【飲（み）明かす】
［動サ五（四）］
夜が明けるまで酒を飲みつづける。夜どおし酒を飲む。「旧友と―・す」

のみ - きり【飲（み）切り】
残さずに飲み切ること。特に、居酒屋やバーで、瓶で注文したアルコール飲料をその日のうちに飲み尽くすこと。「―サイズのミニボトル」

のみこみ - がお【呑み込み顔】
事情をすべて理解しているような顔つき。納得した顔色。「―でうなずく」

のみ - さし【飲み止し】
飲みさすこと。また、そのもの。「―の茶碗」「―のタバコ」

のみ - さ・す【飲み止す】
［動サ五（四）］
飲みはじめて中途でやめる。「茶を―・したまま席を立つ」

のみ - たお・す【飲（み）倒す】
［動サ五（四）］
① 酒を飲んで代金を支払わないままにする。「客に―・される」
②「飲み潰(つぶ)す」に同じ。「身代を―・す」

のみ - つ・ける【飲（み）付ける】
［動カ下一］
日常よく飲んでいる。飲み慣れている。「―・けた銘柄の酒」


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

蚤(のみ)の心臓(しんぞう)
気が小さく、臆病(おくびょう)であることのたとえ。

乗(の)り掛(か)かった船(ふね)
《乗って岸を離れた船からは下船できないところから》
物事を始めてしまった以上、中途でやめるわけにはいかないことのたとえ。

のり - つぶ・す【乗（り）潰す】
［動サ五（四）］
乗り物を、使えなくなるまで乗る。「新車を三年で―・す」

糊(のり)と鋏(はさみ)
糊と鋏とで作る意で、先人の文章などをつなぎ合わせて自分の著作をこしらえることにいう。「―の論文」

伸(の)るか反(そ)るか
成否は天にまかせ、思い切って物事を行うこと。いちかばちか。「―の大ばくち」「―、このプランでやってみよう」

のろ - くさ【鈍臭】
［副］（スル）
動作がいらいらするほど遅いさま。「―して仕事が少しもはかどらない」

のろ - くさ・い【鈍臭い】
［形］［文］のろくさ・し［ク］
動作がいかにものろい。じれったいほど遅い。「―・い説明のしかた」


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

のんべん - だらり
［副］
何をするのでもなく、だらだらしているさま。また、物事のやり方・進め方に締まりがないさま。のんべんぐらり。「―と過ごす」


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

# おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）


Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.